倉敷市立倉敷第一中学校　第3学年　学年通信

しあわせ

令和6年5月　31日発行　VOL2

1日目　～倉敷から松浦へ～

　5月19日（日）　朝6時半に全員集合完了！岡山駅からいざ九州へ出発！岡山駅では、見事に1分間で新幹線に乗り込み、楽しみにしていたお菓子タイムを満喫しました。博多駅のホームでバスガイドさんとご対面。第一中生徒を乗せたバスは一路松浦市の7地区へ。青島地区組はフェリーにも乗り、旅行気分は最高潮！ 昼食後、体操服に着替えたら「ほんなもん体験」がスタート。インストラクターの指示を聞きながら、アウトドア＆インドアで、わくわくしながら、体験活動に没頭。主任の私がいる本部建物には、賑やかに料理をするグループの元気な声と、チャンポンの美味しそうな香りが漂ってくるではないか！（あぁいい香り。美味しそう・・・）　時刻は16時半。それぞれの体験を終えた生徒たちが、あちらこちらから再集合。体験講座で制作した美しい作品を手に戻ってくる男子グループを発見。「福を招く繭玉」を手作りしたそうで何やら縁起物だそう。（これで受験は大丈夫らしい）押し寿司、蕎麦打ち、チャンポン作り体験グループは「もう満腹でこれ以上何も食べられません」などと言っている。・・・皆さん、約2時間後には民泊先で夕食を作り、残さずにしっかりといただくのですよ！ 入村式を終え、受け入れ家族の方と「初めまして」のご挨拶。受け入れ家族の皆さんはとても気さくな方ばかりでホッと一安心。「先生行ってきま～す」と手を振りながらの移動後は、ドキドキの民泊の始まり。松浦市は「アジフライの聖地」として有名で、どの家庭でも揚げたての大きくて美味しいアジフライや、豪華な食事をごちそうになったそう。「空気が美味しくて気持ちがいい」「スマホなんか要らんわ」 生徒がそう言いたくなるのが松浦市の持つ魅力の一つです。





2日目～平和への誓い・ハウステンボス入園～

　２日目、今日も朝から快晴！大自然の朝の空気は素晴らしい。退村を終えるといよいよ民泊先の家族とのお別れ。たった一晩という短い間とはいえ、温かく優しく接してくださった松浦の家族との別れは寂しいもの。「元気で頑張れ!」「またいつか遊びに来ます」第一中の生徒を乗せたバスが見えなくなるまで、ずっと手を振って見送ってくださっていました。
　10時半、昨日からそれぞれ分かれて活動していた第一中9クラスのバスが続々と平和公園に集結。学級ごとに平和集会を行い、いよいよ長崎班別自主研修がスタート。さて、班のメンバー皆で協力し、自分達のスケジュールどおり動けるかなぁ？ 集合時間までにきちんと戻って来れるのかなぁ？過去に、班行動の経験がない分、主任の心はやや、いえ相当不安・・・。そんな主任の不安をよそに、第一中全45班はいざ、長崎の街へ！主任は、大浦天主堂近くの本部建物2階で待機。ふと眼下を見下ろせば、オランダ坂には第一中の生徒達が相当数、活動中！時計を見て走ってグラバー園へ急ぐ班、ゆっくりとお土産を眺めている班。集合写真を撮っている班。水辺の森公園の集合完了時（より少し前）には、全ての班が集合完了！　凄いじゃないか、皆さん！
　バスは長崎市内から一路、ハウステンボスへ。長崎自動車道からの車窓らは、どこまでも続く大村湾の海の景色が広がっていました。ハウステンボス近づくにつれバス内は「そわそわ」。生徒たちの楽しみがダイレクトに伝わってきます。比較的空いている園内で、生徒たちは、のびのびと買い物やアトラクションを楽しむことができました。夕食も自由食。お土産選びに夢中になっている生徒も。引率教師に笑顔で写真を撮ってもらい、最高に楽しそうでした！